

「友好の町絆協定」調印

町民交流、災害時応援を期待

浦幌町と岩手県洋野町の「友好の町絆協定」調印式が7月12日午後3時から、浦幌町コスミックホールで開かれ、浦幌町の水澤一廣町長と洋野町の水上信宏町長が協定書に署名・調印しました。模範牧場の姉妹提携（昭和63年）から26年、パークゴルフなどを通じて育んできた交流が町全体の産業、観光、教育などに広がります。洋野町は東日本大震災で甚大な被害の中、人的被害を出してならず、本町の防災の推進においても交流の成果が期待されています。



調印を終え笑顔で握手する田村浦幌町議会議長、水澤浦幌町長、水上洋野町長、福島洋野町議会議長

浦幌・水澤町長あいさつ

本日この式典を迎えることができ、模範牧場の関係者はじめ26年間絆づくりをしてきた皆様に感謝する。大震災で人的被害を出さなかつた防災組織など、洋野町の皆様からお教えた所は多い。足りないところは補い優れた所は吸収し合う、未来へ向けた協定でありたい。いそがず慌てず、一気に行くのではなく永くお付き合いしていきたい。

洋野・水上町長あいさつ

昨年7月に協定締結に合意して以来、好きな恋人のところにいくような気持ちで今日の日を楽しみにしていた。台風の影響も収まると確信し、風も雨も恐ろしくなくなつた。震災被害の復旧復興へ全力を尽くしているが、皆様からの支援をいただき、順調に進捗している。協定はこれまで26年間の様々な交流を重ねた歴代先輩のご尽力の賜物で、感謝したい。

友好の町絆協定書

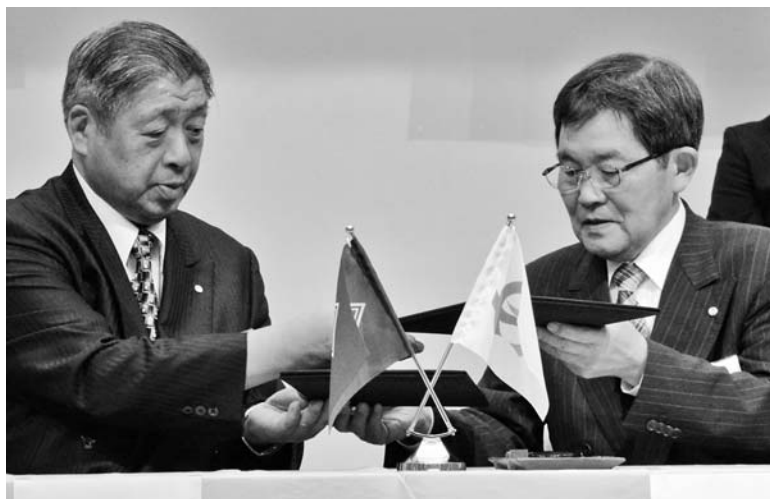
北海道浦幌町と岩手県洋野町は、両町民の交流を通じて、相互の信頼と理解を深め、これまでの友好関係をさらに推進するため、友好の町絆協定を締結する。

- 1、町民間の相互交流
- 2、産業及び観光の振興に関する交流
- 3、青少年の交流
- 4、教育、文化、スポーツに関する交流
- 5、災害時の相互応援
- 6、その他両町の友好促進に必要な事業

平成26年7月12日

北海道 浦幌町長 **水澤一廣** 岩手県 洋野町長 **水上信宏**

台風8号の影響が心配されましたが、洋野町の代表団16人は無事到着。式典では一行が紹介されたあと、門馬孝敬浦幌町副町長が協定文を朗読。続いて田村寛邦浦幌町議会議長、福島秀雄洋野町議会議長の立会いの下、両町長が協定書に署名交換し町旗の交換も行われました。



協定書を交わす両町長



町旗の交換も行われた

洋野町の代表団と浦幌の関係者で記念写真



和やかに祝賀会

続いて開かれた祝賀会では両町長のあいさつの後、田村議長の発声で乾杯。スライドによる両町の紹介が行われ、上浦幌開拓太鼓、浦幌開拓獅子舞や、子どもたちのチアリーディング「みらくる☆ビーンズ」が舞台上に立ち、祝福しました。

洋野町から運ばれたホヤなどを味わいながら歓談し、26年間の思い出と今後の交流について語り合い、福島議長の万歳三唱で締めくくりました。

震災の被害と復興について説明する洋野町の日當博治副町長。一人の犠牲者も出さなかった自主防災の取り組みは、浦幌町にとって大いに参考になると注目を集めた



みらくる☆ビーンズが歓迎のダンスとプラカード



上浦幌開拓太鼓が力強く歓迎の演奏



開拓獅子舞のお獅子が祝福の垂れ幕